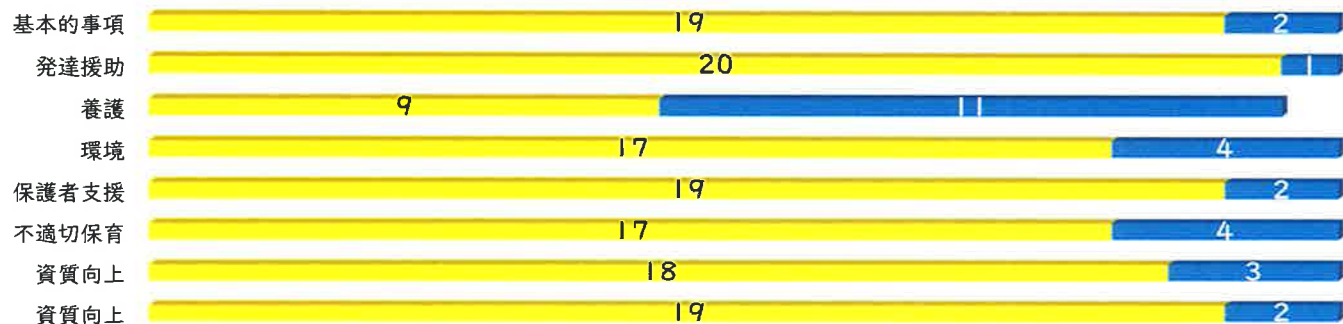


自己評価（保育士） ※一部抜粋

要素	評価項目	自己評価			
		よくできた	おおむねできた	あまりできていない	できていない
基本的事項	子どもの人権に十分に配慮するとともに、こども一人一人の人格を尊重して保育を行っていますか	19	2		
発達援助	子どもひとりひとりの発達状況と子どものおかれている事情を理解し、保育を行っていますか	20	1		
養護	外遊びや散歩など戸外で遊ぶ機会を多く取り入れていますか	9	11		
環境	保育士の言動一つ一つを子どもはモデルとして学んでいることを知っていますか	17	4		
保護者支援	子どもの日々の健康状態を把握したり情報を共有し、保育を行っていますか	19	2		
不適切保育	物事を強要するようなかわりや脅迫的な言葉かけをしていませんか	17	4		
資質向上	自分の保育を振り返り、問題点や課題を見つけることができていますか	18	3		
資質向上	たとえ自分のクラスのものではなくても、教材教具などの管理が不備であれば自ら進んで整えることができる	19	2		



自己評価	★注意をしないといけない時はその子の特性にあった声かけを行った ★1年間子どもたちに大きなケガや事故がなく終えられたことに対してまずは自分を褒めたい ★書類が多く子どもたちに関わることが少ない日があったのが心残りだ★子どもたちの個性が強く大変なクラスであったが楽しく関わる事ができた ★子どもの成長に合わせた玩具を提供したり、同じおもちゃで違う遊び方を見せて子どもたちの興味を広げることができた ★危険回避のためではあったがとっさに子どもの手を引いてしまうことがありとても反省したがさらに気をつけていきたい ★クラスの他の保育者と連絡相談報告がよくでき、しっかり連携がとれた ★遊ぶときにCDで童謡を流していたので子どもたちが自然にたくさん歌を覚えることができた ★他の保育者と情報共有しながら子どもたちの成長をお手伝いし、見守ることができた達成感がある★乳幼児の人権について改めて考える一年だった ★たくさんスキンシップをとることができ、子どもたちとの信頼関係を築けたと感じる ★フリーでクラスに固定されないことで逆に気持ちがパタパタしてしまっていたことで失敗も増えた。ゆっくり考え落ち着いて行動する必要性を感じた ★こどもたちの「できた喜び」を味わう姿を見ることが嬉しかった★保護者や気になる子の対応に悩むことも多かったが子どもたちの笑顔に救われる1年だった ★日々の保育を通して子どもの話をよく聞くことからはじめ、行動を見て理解を深め個々への関わり（支援・援助）などを的確に行えた ★クラスでの伝達忘れや保護者対応などで反省すべき点があり、クラスの先生方の助言に学ぶことも多かった ★分からないことをうやむやにせず誰かに相談して解決できたことが自分の中で大きかった
改善点	★その子に合った声かけを増やしていくこと★子どもたち一人一人の成長を楽しみ、しっかりと子どもに寄り添う★こどもたちの遊びを見守り、事故を未然に防げるようになりたい ★戸外遊びの計画をしている日であっても子どもたちの体調で見送ってしまうことが多かった★子どもの人権ということを念頭において保育する ★もっとピアノを練習し保育に取り入れ音楽を楽しみたい★手作りおもちゃ・ペープサートをたくさん作って保育に活用したい ★頑張っているがパソコン作業が苦手である★言葉遣い一つ、子どもには1つのモデルとなってしまうことをもっと意識する ★子どもたちとたくさん楽しむためにもまずは自分の体調管理をしっかり行う★発達障がいの子どもたちやグレーゾーンの子どもたちについてもっと知識を増やしたい ★子どもたちが「保育園大好き!」と言ってくれるよう、自分の保育をもっと高めていく★事務作業をもっと効率よくできるようにしたい ★保育に関して職員がもっと気兼ねなく発言できる雰囲気づくりや、職員同士もっと協力したり連携したりする関係づくりができるようにしたい